



2025年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

2024年8月9日

株式会社レスター

<将来の見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。実際の業績は、様々な外部要因、内部要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与える重要な要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動並びに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。本資料・データの無断転用はご遠慮ください。

<お問い合わせ先>
レスター 広報・IR部

E-mail: irpr@restargp.com



2025年3月期 第1四半期 連結業績ハイライト

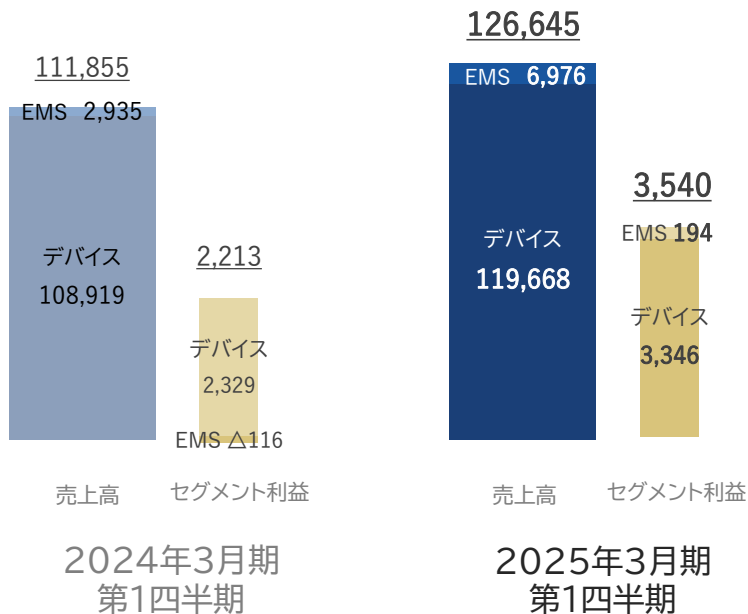
売上高は車載向けを中心とした売上の伸長、加えてスマートフォン市場の回復に伴うEMS事業の業績改善やデバイス事業における連結子会社化により増収、営業利益はデバイスBU(ビジネスユニット)における増収などが寄与し増益、親会社株主に帰属する四半期純利益も事業再編に伴う税効果などもあり増益

- 売上高
主に車載向けを中心とした売上の伸長、加えてスマートフォン市場の回復に伴うEMS事業の業績改善や連結子会社化(2023年7月株式会社レスターWPG、2024年1月株式会社レスターエンベデッドソリューションズ)したことなどにより増収(前年同期比 13.3%増)
- 営業利益
主にデバイスBU(ビジネスユニット)における増収などが寄与し増益(前年同期比 67.8%増)
- 経常利益
営業利益と同様により増益(前年同期比 101.4%増)
- 親会社株主に帰属する四半期純利益
2024年4月に実行した事業再編に伴う税効果などもあり増益(前年同期比 340.8%増)

単位:百万円	2024年3月期 第1四半期		2025年3月期 第1四半期		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	119,563	—	135,425	—	15,861	13.3%
売上総利益	9,889	8.3%	12,264	9.1%	2,375	24.0%
販売管理費	7,133	6.0%	7,640	5.6%	506	7.1%
営業利益	2,755	2.3%	4,624	3.4%	1,868	67.8%
経常利益	1,752	1.5%	3,530	2.6%	1,777	101.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	683	0.6%	3,013	2.2%	2,329	340.8%

デバイスビジネスユニット

(単位:百万円)



EMS

主力のスマートフォン向けが伸長し増収

デバイス

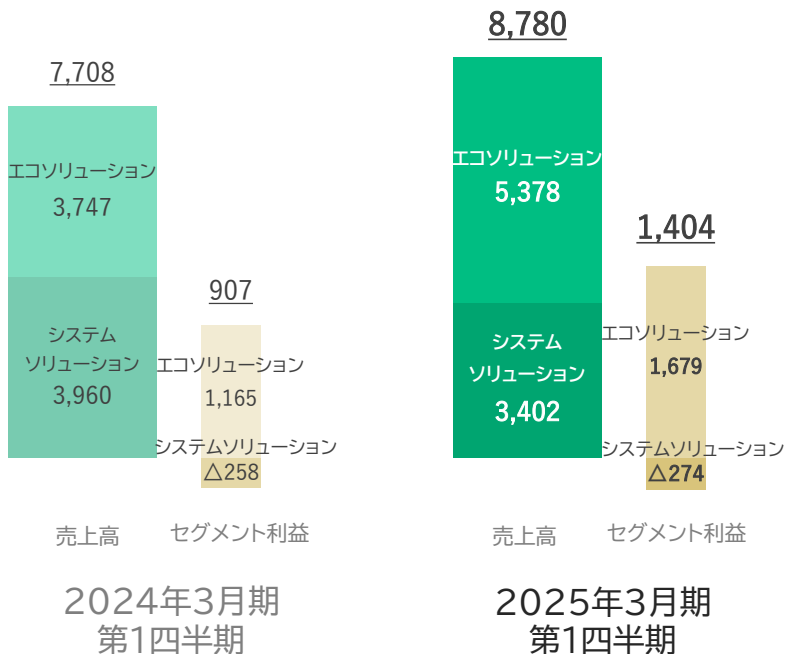
産業機器向けが低調であった一方、車載向け・民生向けが堅調に推移したことや連結子会社化(2023年7月株式会社レスターWPG、2024年1月株式会社レスターエンベデッドソリューションズ)が寄与したほか、グローバル調達トレーディングにおける車載需要が引き続き好調に推移したことにより増収

セグメント利益

デバイス事業とEMS事業における増収により増益

システムビジネスユニット

(単位:百万円)



エコソリューション

国内における太陽光発電所の拡大や(電力販売契約)の新規契約の増加のほか、電力販売が堅調に推移し増収

システムソリューション

放送関連向けや出入管理端末などのシステム機器における販売が低調に推移し減収

セグメント利益

システムソリューション事業の減収による減益があったものの、エコソリューション事業における保有電源の寄与により増益

連結貸借対照表

資産：電子記録債権の増加、売掛金、商品及び製品の減少
 負債：短期借入金、支払手形及び買掛金の減少、長期借入金の増加

単位:百万円	2024年3月末	2024年6月末
資産の部		
流動資産	234,350	225,679
固定資産	57,353	57,561
資産合計	291,704	283,241
負債純資産の部		
流動負債	180,132	159,406
固定負債	20,547	30,651
純資産	91,024	93,183
負債純資産合計	291,704	283,241
自己資本比率	28.9%	30.3%

単位:百万円	2025年3月期 通期見通し	2025年3月期 第1四半期	進捗率
	金額	金額	
売上高	560,000	135,425	24.1%
営業利益	16,000	4,624	28.9%
経常利益	10,500	3,530	33.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,000	3,013	37.6%

■2024年5月13日公表の通期業績見通しに変更ございません。

ビジネスユニット別業績進捗状況

単位:百万円		2025年3月期 通期見通し	2025年3月期 第1四半期	進捗率
		金額	金額	
売上高	デバイスBU	516,900	126,655	24.5%
	デバイス	493,800	119,678	24.2%
	EMS	23,100	6,976	30.2%
	システムBU	43,400	8,784	20.2%
	システムソリューション	25,700	3,406	13.3%
	エコソリューション	17,700	5,378	30.4%
	全社・調整	△300	△14	—
	連結	560,000	135,425	24.2%
営業利益	デバイスBU	13,400	3,540	26.4%
	デバイス	12,750	3,346	26.3%
	EMS	650	194	29.9%
	システムBU	2,600	1,404	54.0%
	システムソリューション	850	△274	—
	エコソリューション	1,750	1,679	96.0%
	全社・調整	0	△321	—
	連結	16,000	4,624	28.9%

■ 2027年3月期を最終年度とする中期経営計画の期間の基本方針

- 安定的な株主還元の充実、成長領域への積極的な投資と財務健全性のバランスを考慮
- 連結株主資本配当率(DOE)4%以上
- 安定的且つ継続的に増配の実施
- 余剰資金については機動的な自社株買い

*DOE(Dividend on Equity):株主資本配当率 = 配当額÷株主資本 = 配当利回×PBR

株主資本をベースとするため、配当性向に比べて、利益のふれに対する影響が少なく、安定的な配当となります。

当社は、株主の皆様安心して長期保有いただけるよう、DOEを重要な指標として捉えて、株主還元を行ってまいります。

2025年3月期 配当予想	第2四半期末 60円	期末 60円	合計 120円
------------------	---------------	-----------	------------

レスターグループ 経営理念

Mission
ミッション

情報と技術で、新しい価値、サービスを創造・提供し、
社会の発展に貢献します

Vision
ビジョン

あらゆるニーズに対応できる
「エレクトロニクスの情報プラットフォーマー」を目指します

世界・社会貢献・共創と革新

Values
バリュー

多様な考えを受け入れ、共創を通じて、新しい文化や価値を創り出します

常に高い目標を掲げて、革新的な発想と情熱で、挑戦し続けます

活躍の場を世界へと広げ、持続可能な社会の発展に貢献します

目指す姿

お客様のすべての課題をエレクトロニクスで解決する
1兆円規模の「エレクトロニクスの情報プラットフォーマー」

革新的ビジネス
の創出

情報×技術
付加価値の向上

グループシナジー

多様な事業展開

事業トピックス（期間：2024年5月～8月）

1. PCIホールディングス株式会社に対する公開買付けと資本業務提携について
2. 大型太陽光発電所新設－ソーラーシェアリングで養蜂と蜜源植物の栽培－付加価値の向上

1. PCIホールディングス株式会社に対する公開買付けと資本業務提携について①

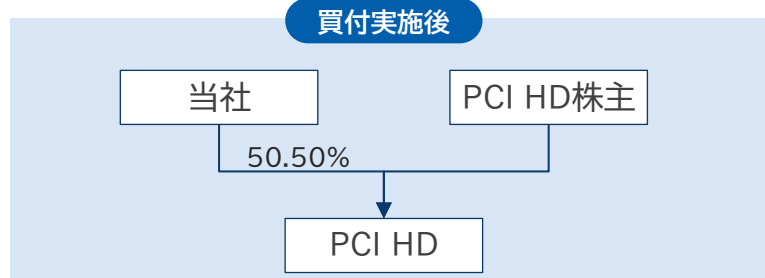
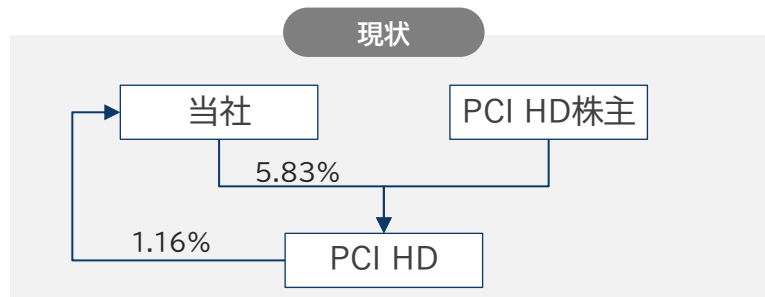


当社は2024年8月9日の取締役会において、東京証券取引所スタンダード市場上場のPCIホールディングス株式会社(PCI HD)の普通株式の公開買付けと、新たに資本業務提携の契約締結を決議いたしました。

■ 会社概要

	PCIホールディングス株式会社
上場市場	東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード 3918)
資本金 売上高 決算期	20億9,189万円(2023年9月末現在) 約284億円(2023年9月期実績) 毎年9月30日
事業内容	情報サービス事業を営み、主な事業は「エンジニアリング事業」、「プロダクト／デバイス事業」、「ICTソリューション事業」の3事業
事業開始 従業員数	2005年4月 1,621名(連結 2023年9月末現在)
主要子会社	PCIソリューションズ株式会社 株式会社ソード 株式会社プリバテック 他3社

■ 公開買付けについて



日程	公開買付開始日	2024年8月13日
	公開買付終了予定日	2024年9月20日

1. PCIホールディングス株式会社に対する公開買付けと資本業務提携について②



当社の中期経営計画に掲げる基本方針のうち、特に「事業領域の拡大」としての「IT&SIer」と「エンジニアリング」の事業化」を目指す取り組みとして進めてまいります。

1. 本公開買付け後の協業関係を通じたシナジー

- ① 市場の深化/拡大による製造業向けビジネス拡大
- ② 技術リソースの質・量拡充
- ③ 企画提案力強化によるSIer上流プロセスへの展開
- ④ 経営基盤の強化とスケールメリット

2. 新たな資本業務提携

(2018年6月27日付資本業務提携契約は終了)

目的

- ① コーポレートガバナンス・コードの各原則その他の上場規則等の趣旨を踏まえて、PCI HDの上場会社としての独立性を維持
- ② 両社の経営リソースを有効活用するとともに、当社が有する製造業を始めとした豊富なアカウント、規模、資金力等をベースに、PCI HDの技術力をコアとした「IT & SIer」及び「エンジニアリング」の事業の柱の創出・推進・加速
- ③ 規模の拡大と収益力(技術力)の向上を通じて、過去から継続的に提携関係を強化してきた両社の関係性を土台とした更なるシナジーの追及を図り、両社の企業価値向上、ひいては両社の株主利益を最大化
- ④ 両社がIT業界再編を牽引する企業グループとなる

主な内容

- ① 産機/医療市場等に強みのある(株)PALTEKや(株)レスターエンベデッドソリューションズを中心にPCIグループの(株)ソードの商材における**拡販体制強化**
- ② デバイスBUへのFAE支援拡大、半導体設計・信頼性関連の集約、事業の分割・統合等による(株)プリパテックの**事業強化**
- ③ システムBU・スマートソリューションの事業との連携、SBIホールディングス(株)やセキュリティ企業との協業によるPCIソリューションズ(株)の**技術活用と上流プロセス参入推進**
- ④ 当社プラットフォーム基盤構築、グループIT部門機能を通じたPCIソリューションズ(株)の**機能活用**

2. 太陽光発電所新設－ソーラーシェアリングで養蜂と蜜源植物の栽培－

- ・ソーラーシェアリング*として5ヵ所目で最大規模となる発電所を本年2月に熊本県人吉市に新設
- ・2024年8月より蜜源植物栽培を開始し、今秋には養蜂を着手予定(農地保有適格法人の株式会社バイテックアグリパワー)

太陽光発電所:国内75ヵ所、台湾88ヵ所
合計:219MW (2024年6月末現在)

国内・台湾の太陽光・風力発電量推移

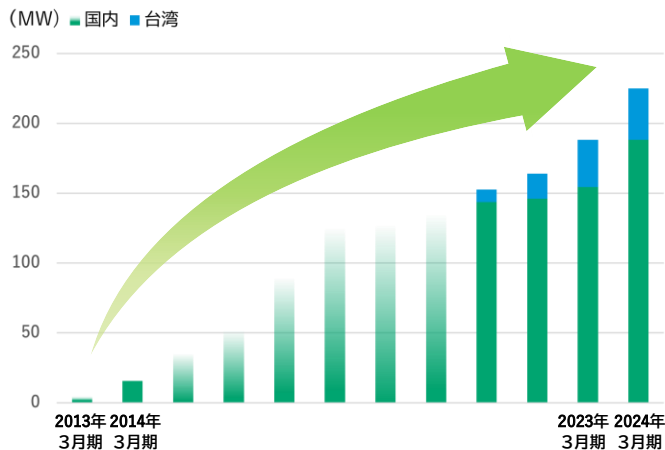


写真:太陽光パネル(左)と施設下にて栽培中の蜜源植物(ハアリーベッチ)(右)

再生可能エネルギーと遊休農地活用の協調的な取り組みを通じて
環境保全と地域創生を推進

*ソーラーシェアリング ▶ 農地に太陽光パネルを設置し発電しながら、太陽光パネルの下で営農を行う取り組み



株式会社レスター